

目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり
基本目標(政策)	3-4	安全で快適な生活環境を形成します
基本計画(施策)	3-4-1	・利便性の高い公共交通の確立

	課	係
主管課・係	総合政策課	地域振興係
関係課・係	各総合支所振興課	企画観光係

**【施策の目的と取組・現状分析】**

1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。	利便性の高い公共交通体系を確立することで、積極的な利用が図られ誰もが快適に生活できる。				
2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？	▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。 公共交通(会津線、会津鬼怒川線、生活路線バス、乗合(デマンド)タクシー等)を、利用者のニーズに合った総合的かつ効果的な運行形態に整備。				
3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)	単位	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 目標値 実績値
A 乗合タクシー利用者数	人	12,623	12,518	14,465	15,000 16,219
B 会津・野岩鉄道輸送人員	人	813,179	449,786	515,935	※651,450 561,621
C					
D					
4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？	5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方		
A ② 上回った	定期的なチラシの配布や、すでに利用している利用客のロコミによって、利便性等が広く周知されたため。	/	/		
B ④ 下回った	観光客は戻ってきたが、そもそもの公共交通離れや、マイカーでの移動が増えているため。	/	/		
C		/	/		
D		/	/		
6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドタクシー運行エリアの拡大。(実証運行)</li> <li>・運転免許証自主返納者支援事業の改善。(配偶者カードにより配偶者も利用券を使用可)</li> <li>・生活路線バスの路線の区間見直し。</li> <li>・総合的な公共交通体系の構築に向けた調査検討や、住民及び事業者との協議。</li> <li>・地区に対するデマンドタクシー利用方法の説明。</li> <li>・各地区区長との意見交換を定期的に開催。</li> </ul>				
7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 南会津町地域公共交通会議、南会津町公共交通対策協議会、各地域協議会、各地域区長会 ・公共交通関連における路線変更や減便、実証運行などを行う際に説明し、利便性を損なわないための意見の反映に努めた。				

**【施策の振り返り】**

8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)	《成果》 デマンドタクシーのエリアが新たに1つ増えた。 《課題》 ・予約ルールの定着には時間を要するため、周知を徹底するなど、事業者と協力する必要がある。 ・利用者増加のため、集落や社会福祉協議会と協力し、周知をする必要がある。 ・交通空白地の解消。
9 本施策の類似性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
10 本施策の効率性	・デマンドタクシーは、ドアツードアで移動できるため利便性が高く、年々利用者が増加していることから効率的であると考えられる。今後も利用者の声を聴きながら、さらに使いやすい交通体系を目指す。 ・鉄道は、首都圏からの観光客や沿線住民の利用の減少により、経営状況が悪化している。

**【結論として…(施策の振り返りも踏まえて)】**

11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性	デマンドタクシーのエリア拡大や利用者の増加などから、利便性の高い公共交通体系が確立されている。一方で、交通事業者のドライバーの確保が課題であり、地域住民がドライバーとして運行する「自家用有償旅客運送」などを検討しながら、公共交通空白地の解消に取り組む。
------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額
01	地域乗合タクシー 運行事業	総合政策課	目的	公共交通空白地域の交通弱者の足として運行し、安心して生活できる環境の確保を目指す。		
			概要	公共交通空白地域における乗合(デマンド)タクシーを運行した。		
			成果	桧沢地域でのスムーズな実証運行により、住民生活の移動手段の選択肢が増えた。		
		地域振興係	問題	慢性的なドライバー不足により、エリアの拡大や本数の見直しが困難な状況にある。		
			対策	①継続 公共交通空白地の解消、タクシー利用者への支援や生活路線バス運行区間の代替運行の検討など、地域の特性に合った効果的な運行形態を検討する。		
			事業費	33,304	36,630	42,136
02	第三セクター鉄道 経営支援対策事業	総合政策課	目的	第三セクター方式による会津線及び会津鬼怒川線の円滑な運行を維持し、住民の福祉の確保と地域振興を図る。		
			概要	会津鉄道・野岩鉄道に対する経営安定化と施設整備に係る支援をした。		
			成果	会津線、会津鬼怒川線の、安全安心で円滑な運行が確保された。		
		地域振興係	問題	観光客のマイカー需要の高まりにより、利用者が戻らない状況にある。また、沿線住民の利用も減少しているため、経営状況が悪化している。		
			対策	①継続 福島県や栃木県、沿線自治体を中心に、広域的な連携による利用促進活動を展開する。		
			事業費	72,628	70,506	90,204
03	公共交通対策事業	総合政策課	目的	鉄道及び生活路線バス並びにスクールバス等の公共交通機関の安定的な運行を確保する。		
			概要	町公共交通対策協議会を通して、町内の公共交通体制の利便性の向上を図った。		
			成果	公共交通機関の利用促進に向けた住民意識の向上が図られた。		
		地域振興係	問題	総合的な公共交通体系の構築に向けた調査検討から、実施へ移行することができなかった。		
			対策	①継続 総合的な公共交通体系の構築に向けた調査検討及び公共交通機関の利用促進に向けた住民意識の向上に努める。		
			事業費	50,111	47,286	49,677
04			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			156,043	154,422	182,017	164,910